

はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト: IKE / 文: 松井治伸

A

2026 OCTOBER

[第2072回]

踊りを愛した作曲家

アントン・ブルックナー



©IKE



軽やかにステップを踏むブルックナー。
彼の音楽の随所に、踊りのリズムが息づいている

ブルックナーはダンスが大好きでした。ダンスホールでワルツやポルカを楽しみ、謝肉祭の仮面舞踏会では仮装をして踊りに興じたといいます。よほど楽しかったのか、踊った相手の女性の名前をカレンダーのメモ欄に書き込むほどでした。彼のダンス好きは、交響曲の中にも表れています。《第5番》の第3楽章には、ダンスをしているような楽しいメロディが出てきます。それは、彼が生まれ育ったオーストリアの田舎のひなびた踊りを思わせます。荘厳な交響曲の中に登場する素朴な踊りの音楽。そこからはブルックナーの飾らない人柄が伝わってきます。